

たということも多い。
YKKはそうした市場の要望に
応えられるように、安定した品質
で、現地の消費者が購入できる価
格帯の商品開発を本格化する。コ
スト削減のためへの新たな拠点と
してインドネシアに、黒部、米ジ
ョーシア州メーコンに次ぐ3番目
の金属ファスナーの原材料となる
ワイヤー工場を設立、昨年12月に

YKK 世界で

インドネシアに設立した金属
ファスナーの材料工場



さを高める。R&D(研究開発)
センター5カ所に加え、商品開発
室は世界15カ所に拡大。黒部工場
と連動し、国、地域それぞれのマ
ーケットに見合った商品開発を行
える体制が整ったことで、多様な

売上げを計画している。
1ム市場の取り組みが進
ドやインドネシアへの挑
っているが、中南米、東
などは今後の課題だ。製
ら販売方法までこれまでの

ユニチカトレーディング16年春夏婦人服地

既存素材の幅広げ拡販

外観と手触りに意外性

ユニチカトレーディングは16年春夏婦人向けで、既存素材の幅を広げ、販売拡大を目指す。
「高品質で特徴のあるもの」が求められていることから、織物調ニットや天然ライクな合繊、
一見して無地のような凹凸など、外観とタッチに意外性を出した素材を充実させた。

重点素材の筆頭は、太陽光遮
蔽によるクーリングナイロン
「サラクールN」。昨年の販売
当初はニットに限定されたが、
新たに織物も揃え、ワンピース
やセットアップ、シャツに向く
肉、薄地を拡充した。快適機



織物はニット、ニットは織物の
ように、合繊は天然ライク、凹
凸は無地調に

能や、ソフトな触感や優しい肌
触りも支持が高く、売り上げは
順調に伸びている。綿、ポリウ
レタンと交織したポンチは、コ
ンパクトだが風合いは柔らか
く、しなやか。
今春夏にトレンド素材に浮上

し、引き続き注目度が高いデニ
ムに向け、空調ポリエステル
「ラインスターE」でデニム調
を開発した。1本の糸に濃淡が
混在する特性を生かし、綿や綿
麻を交織することで、本物のデ
ニムに近づけた。ポリエステル
混ならではのイージーケア性や
きれいな表情も好評だ。

ハイテンションニットの柱と
してきたパンツ地は、ハイテン
ションパンツの需要が一巡した
とみて、タッチや見た目に特徴
のある織・編物を打ち出す。高
反発ポリエステル「ゼログ」は
定番のニットに加え、織物も投
入した。ポリウレタンでストレ
ッチ性を出した平二重は、薄く
しなやかだが、膨らみがあり、

政期
越月
川3

過去最高の売上高

人材育成、新規開拓が奏功

服地コンパターの川越政
が、15年3月期で過去最高の売
上高となった。力を入れてきた
人材育成と新規開拓が奏功し、
特に国内外でのテキスタイル販
売が好調に推移した。今期は4
月に東京支店を移転して利便性
を高めたほか、「若手育成の
年」(川越浩治社長)として、
社内体制の強化を目指す。
川越政は、アップゾーンを

対象にした国産テキスタイル販
売と、ポリウムゾーンを対象
にしたアパレルOEM(相手先
ブランドによる生産)を手掛け
る。前期の売り上げは約18億
円。2期連続で過去最高を更新
して増収増益となった。
リード役は日本素材に絞った
テキスタイル販売で、国内セレ
クト系のレディス、カジュアル
アパレルなど売り先が拡大。昨

年スタートした輸出では、韓国
やベトナムの高級アパレルに採
用が広がり、今後も拡大を目指
す。
一方、中国の協力縫製工場を
活用したOEM(相手先ブラン
ドによる生産)は、円安やコス
ト増の影響で売り上げ、利益と
ともに微減となった。今期は、現
地素材メーカーとの連携を深
め、素材開発やコスト削減に力
を入れる。また国内の既存顧客
に対しても、素材や縫製ノウハウ
を生かした一貫提案を行う。
効率化と差別化を進め、利益率
の向上を目指す。

心電計測できる 電極布を披露

メディテックジャパンに出展

帝人グループ

帝人グループは、22、24日に
東京都内で開催された医療機器
の設計・製造に関する国際展示
会「メディテックジャパン」に
初出展し、着用するだけで心電
計測が可能な「ウェアラブル電
極布」を披露した。同グループ
で健康、快適、安全をテーマに
高機能繊維製品を製造販売する
帝健が、産学連携で開発した。
提案対象に挙げていた有力なシ
ステム、デバイスメーカーが関
心を持ち、心電計測ツールの開
発に活用されそうだ。

開発の目的は、心臓疾患によ
る緊急搬送時、疾患状況の適切
な判断に必要な心電計測を簡易
にすること。現状、精密な心電
計測法である12誘導心電計測は
10個の電極を体の正確な位置に
取り付けなければならぬ。正
確に測ることは難しく、一般的
に医師が同乗しない救急車の中
で行うのは困難とされている。
帝健が京都大学、京都高度技

着るだけで心電
計測できる電極布



術研究所と共同
は、従来の方法
確に計測するた
本の緯糸で複雑
る西陣織の技法
エステルをベー
えた1本の銀系
極を配置した帯
た。体の中心線
て胴体に巻き、
とめて計測する
京都・西陣で作
メディテック
したブリスには
図データを解析
やデバイスのメ
持つて複数乗場
ウェアラブル事
イル部の上層一
を感じている。
現在、複数の

決算発表から

蝶理

「20年度
高4000億
100億円」
ジョンが相
た」と蝶理
は、自信を
期中の上

川越政

「人の力」で伸ばす

製品OEMは中身重視

中堅生地商社、川越政(大阪市中央区)の川越浩治社長は今期(2016年3月期)の重点戦略として「人材育成」を掲げる。円安を追い風に輸出拡大を改めて推進するが、「増収局面は一段落」とし、製品OEM事業を中心に今期は「中身の改善」に取り組む。

川越社長は「工場も設備も持たない当社は人材がすべて」と強調、人材の育成、強化に改めて力を注ぐ考えを示す。同社では社員を①部門長クラス②中堅クラス③若手・新人クラスに分類、

前期の増収増益には「中堅の頑張りが寄与」したが、今期は「各クラスに見合った育成」の一環として、若手・新人の育成をとくに推し進める。それぞれのクラスで密に会議を開き、情報交換や課題抽出を進めるほか、「経営者の一番の仕事は人材育成」とし、社長自身が参加したセミナーや講演会などの情報を社内公開するなど、人材強化に努める。

人材育成だけでなく人員増も進めており、これを力にテキスタイル事業では今期も増収を見込んでいる。

15年3月期

売上高 過去最高を更新

川越政(大阪市中央区)の2015年3月期決算は、売上高が前期比3.4%増の18億円となり、創業以来の過去最高記録を更新した。これに伴って利益も伸長した。テキスタイルが24%増

素材の開発、訴求が実り、結果を残した。今期もこの流れを継続するが、直接輸出としてはとくに中国、韓国への提案を強めていく。

円安や中国の賃金上昇を背景に製品OEM事業は苦戦が見込まれるため、今期は「中身を磨く」ことに力を注ぐ。重視するのは「適正な小売価格」が強く求められる。

取と大きく伸び、全体をけん引した。これまでほぼゼロだった輸出が、欧州メゾン向けやベトナムの富裕層アパレル向けなどで拡大。これにより売上げに占める輸出事業の構成比率は1割となった。欧州メソンのバイヤーが日本を訪れた際に同社の生地を目を留め、成約となった。ベトナム富裕層アパレルは、同社が英語で発信するウェブサイトをから接点ができたという。

野の拡大方針が具体化する形で新規開拓が進み、主力のメンス分野も同展の継続開催や営業スタッフの増員効果が寄与し、伸ばした。

製品OEMは円安を背景に4%の減収だったが、川越浩治社長は「為替の割には健闘できた」と評価する。

今期はテキスタイルでさらなる増収を見込むものの、製品OEMでは「中身の充実」を図るため、「減収もやむなし」として

国内向けではミセス分

ミドル脂臭対応加工紹介

シキボウ・東京総合展

シキボウはきょう24日、東京都江東区のポニーケン東京本館で、ミドル脂臭に

倉敷アイビースクエア



商品の多くが「メイドイン倉敷」

外国人観光客にも人気

「倉敷繊維考房」開催

岡山県倉敷市の美観地区のホテル「倉敷アイビースクエア」のアイビークサ製の雑貨、真田紐など、地元産の素材を生かした製品が並び、見どころが11日から同館主催で開催。美観地区では近年、海外からの観光客が増加傾向にあり、外国人が土産として、買っていくケースも増加。触れ、使う楽しさを楽しんでもらいたい。「ほとんどのメイドイン・ジャパン、メ」との思いから企画、5月17日まで開催。倉敷の商品で、お土産として買って帰るや、小物や雑貨がよ

らおうという試みで、今回で3回目。アイエスカンパニー、anone、倉敷いぐさ今吉商店、五感、坂本織物、山陽ハイクリナー、タケヤリ、日本被服、バーストン、BARREL fine clotting、ベティスミス、ポソンホールディングス、linelleの13社が参加している。

開催期間を前回に比べ1週間延長。観光客に知ってもらうだけでなく、地元へも繊維産業が盛んなことを知ってもらうのも狙いで、回数を重ねることに展示内容が充実。学

ナストコーポレーション

価格戦略奏功で増収へ

ベトナム製比率高める

タオル製造卸のナストコーポレーションの2015年4月期は5%増収、利益も増益で着地する見込みだ。同社は量販店が主販路だが、2年が

びており、中国をはじめ香港やシンガポール、マレーシア、韓国へも販路を広げている。

16年3月期の重点取り組みとして、尾池行社社

16年3月期の重点取り組みとして、尾池行社社

つばい不快な原因成分が「シアセチル」であること、マンダムが2013年に特定した。

シキボウはマンダム技術開発センターとの共同取り組みで、このシアセチルに対しても高い消臭効果を発揮する加工を開